

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 6 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしく  
お願いします。

記

1 情報の内容 トビイロウンカの発生状況と防除対策の徹底について

2 発生状況

(1) 予察灯による誘殺状況（表 1）

愛南町において、7 月 19 日（平年：7 月 28 日）に県内最初の誘殺を 1 頭の飛来で確  
認し、その後の誘殺は 8 月第 1 半旬までは認められなかったが、8 月 10～14 日に 4  
頭、16～20 日に 2 頭確認している。その他の予察灯では、8 月 11、20 日に西予市にお  
いてそれぞれ 1 頭の誘殺を確認している。

(2) 圃場における発生状況（表 2）

最初の発生は、7 月 27 日の広域調査により西予市宇和町で確認した。その後も定点  
調査や各地域の広域調査を実施した結果、四国中央市、久万高原町、松前町、松山市、  
大洲市で発生を確認している。特に、西予市、大洲市では個体数は多くはないが増殖率  
の高い短翅雌成虫の発生を確認している。

(3) 多発年との発生状況の比較（表 3）

平年に比べると 10 株当たり成幼虫数及び短翅雌成虫の発生圃場率は低いものの、過  
去の多発年と比較すると、平成 25、26 年より発生密度は高くなっている。なお、平成  
25 年は 8 月下旬以降、急激に圃場内密度が増加し、坪枯被害が多発した。

3 今後の対策と注意点

予察灯の誘殺状況や圃場の発生状況から、トビイロウンカの飛来量は平年並と推定さ  
れ、現在の発生密度は高くはないが圃場内に広く生息している可能性がある。

- (1) 県内の予察灯の平年の飛来（愛南町除く）は 8 月 10 日～29 日となっていることか  
ら、今後も継続する可能性があるので引き続き圃場での発生には注意する（防除所  
HP 参照）。
- (2) 圃場における発生は、要防除密度（時期：8 月中旬～8 月下旬）である 10 株当  
り成幼虫数 30～50 頭には達していないものの、今後増加する可能性があるので注  
意する。
- (3) 移植時にトビイロウンカに登録ある育苗箱施用剤をしていない圃場や、トビイロ  
ウンカに対して感受性が低下している殺虫成分を含む薬剤を処理している圃場では  
既に発生密度が高まっている可能性もあることから、出穂期の定期防除は必ず実施  
し、発生状況によっては追加防除を実施する。また、効果の高い殺虫成分を含む育  
苗箱施用剤を処理している圃場でも出穂期の定期防除を実施する。
- (4) 発生は圃場間差や、圃場内での偏りがあるため、圃場全体を注意して見回り、被  
害発生前のサインである黄化症状（写真）などの変化を見逃さないよう注意する。
- (5) 薬剤は、本虫が生息する稲の株元に十分届くよう丁寧に散布する。

表1 予察灯におけるトビイロウンカの半旬別誘殺数

予察灯	7月			8月			
	第4半旬	第5半旬	第6半旬	第1半旬	第2半旬	第3半旬	第4半旬
西条市西泉	0	0	0	0	0*	0*	0
松山市上難波	0	0	0	0	0	0	0
松前町大間	0*	0	0	0	0	0	0
久万高原町入野	0	0	0	0	0	0	0
西予市宇和町	0	0	0	0	0	1	1
愛南町長月	1	0	0	0*	1*	3	2

\*: 欠灯のため一部日別誘殺データなし

表2 圃場におけるトビイロウンカの発生状況（8月23日調査まで）

調査月日	調査地点	調査圃場数	発生圃場数	程度別発生圃場数 (成幼虫数/10株)		短翅雌成虫数 (頭/10株)	備考
				1~9(頭)	10~49(頭)		
7月27日	西予市宇和町	28	1	1	0	1	広域調査
8月5日	四国中央市	40	1	1	0	0	広域調査
8月15日	西予市宇和町	1	1	1	0	2	定点
8月16日	久万高原町	1	1	1	0	0	定点
8月19日	久万高原町	88	10	9	1	0	広域調査
8月19日	松山市	1	1	1	0	0	定点
8月22日	松前町	1	1	1	0	0	定点
8月23日	大洲市	17	3	3	0	3	広域調査

- 1) 定点: 病害虫防除所(農水研)の調査地点
- 2) 広域調査: 各地域ごとに圃場を調査

表3 広域調査における多発年との比較(7月下旬~8月中旬)

	H25	H26	R1	R2	<b>R4</b>	平年
成幼虫数/10株	0	0.004	3.89	12.68	<b>0.04</b>	1.69
短翅雌成虫発生圃場率	0	0.38	1.40	13.1	<b>0.25</b>	1.58
発生概評	多	やや多	甚	甚		

- 1) H25は8月下旬以降に急激に発生増加
- 2) 平年: H24~R3の10年の平年値



写真 黄化症状（坪枯直前）